

大学入試センターにおける 得点調整の方法

林 篤裕

hayashi@rd.dnc.ac.jp

(独立行政法人 大学入試センター 研究開発部)

資料配布場所 <http://peter.rd.dnc.ac.jp/ice/haifu/#rpm>



得点調整

- 科目間の平均点に一定以上の差が生じた場合
- 試験問題の難易さに基づくと認められた時
- 対象科目
 - 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」
 - 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」
 - 理科の「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」
- 平均点を完全には一致させない
 - 20点以上の差を15点程度に縮小
 - 選択科目で発生していることから差をゼロにはしない
 - 0点は0点に、100点は100点に
- 分位点差縮小法 (Reduced Percentile Method)

開発経緯

- 平成9年の数学②：最大平均点差 21.69点
 - 「数学IIB(63.90点)」と「旧数学II(42.21点)」の間
- 過去の発動事例：開発後9年間で1回だけ
 - 地理・歴史 (平成10年)

	調整前	調整後
世界史B	61.03	65.50 (+4.47)
日本史B	56.33	62.18 (+5.85)
地理B	77.23	77.23 (不変)
最大差	20.90	15.05

- 平成元年の方式とは異なる：共通1次最終年

2科目間の平均点差

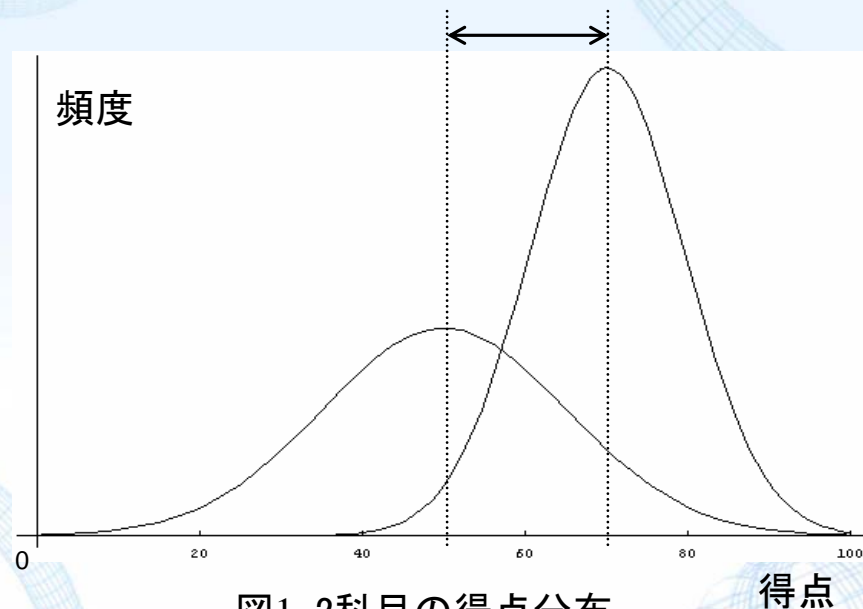


図1. 2科目の得点分布

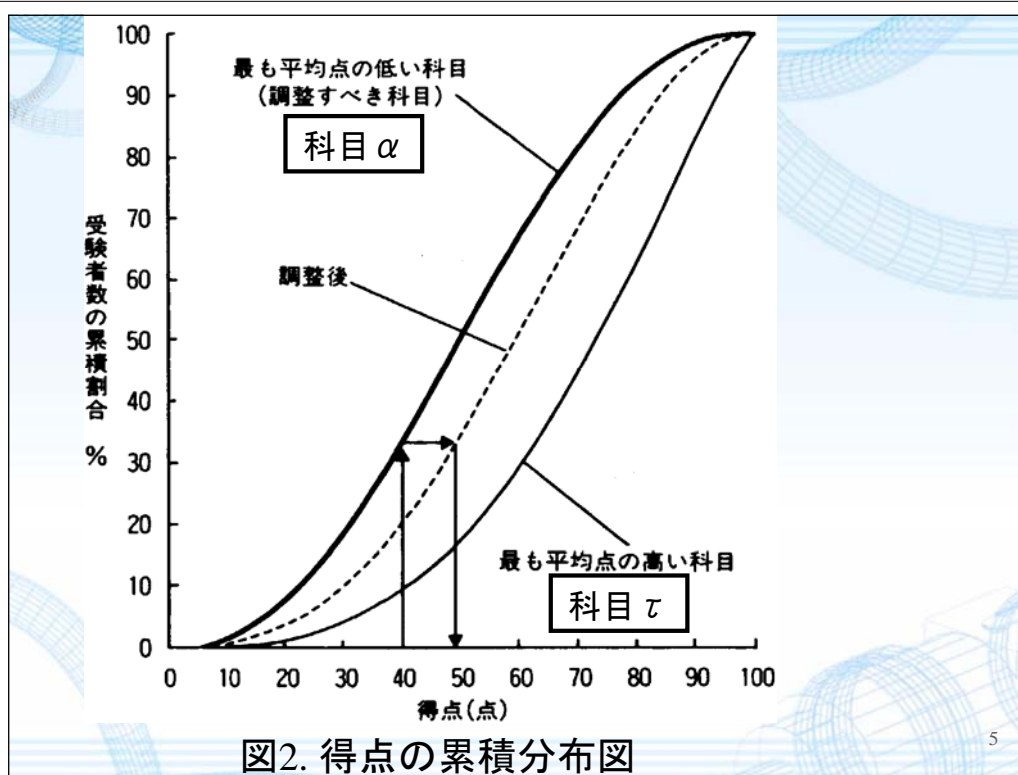


図2. 得点の累積分布図

5

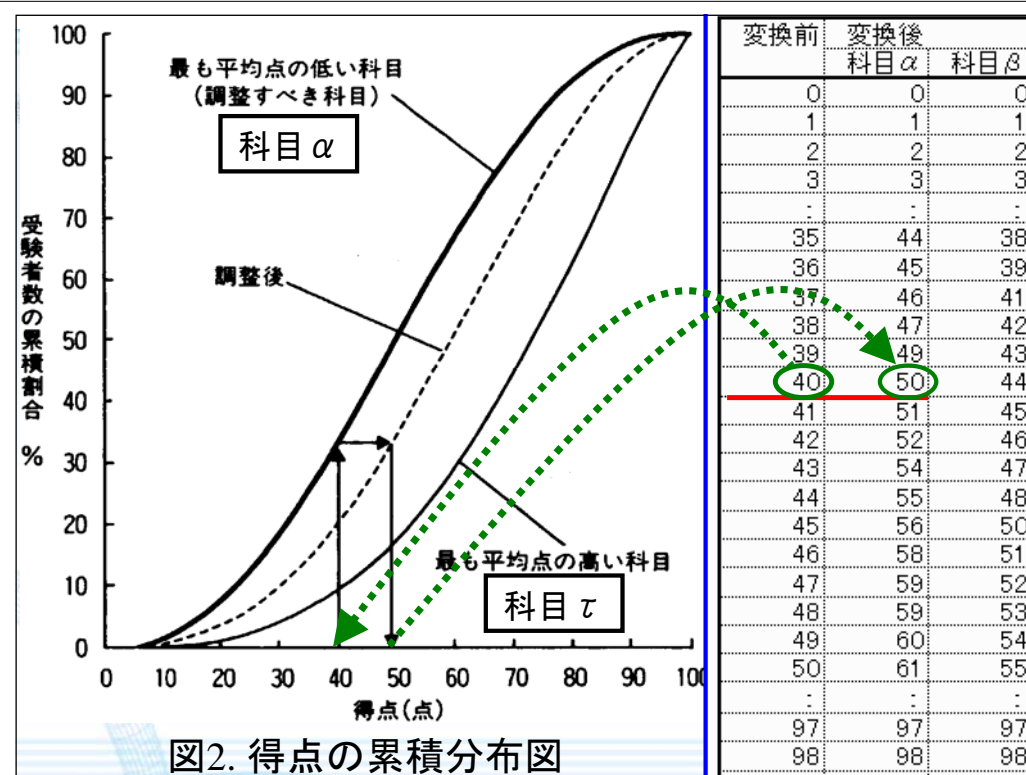


図2. 得点の累積分布図

実用化に向けて

- 得点調整に必要な情報
 - 各科目の分布 (1点刻みの頻度情報)
 - 調整幅 (目的平均点差)
- 調整のための確認事項・前提条件
 - 各科目の受験者群の性質は?
 - 受験者が科目を選択できる状況下では?
 - ◆ 受験者の科目選択行動の複雑化・戦略化を招く

7

得点調整の前に

- 得点調整に向かないシチュエーション
 - 受験者数が少ない場合
 - 教科をまたいだ科目間の調整
 - ……
- 説明責任や情報開示への対応
 - 調整を行なうことの / 行なったことの受験者への説明
 - 受験案内に明記
 - 調整方法は何をを用いる?
- 参考文献
 - 前川 真一(2001), 大学入試センター試験における選択科目間の得点調整について, 計測と制御, 第40巻, 第8号, PP568-571.

8